

● 地域提案型

平成17年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	フィジー
2. 事業名	消防消火・消防救助技術研修コース（国際消防技術実務研修） International Practical Training Course for Firefighting and Rescuing in Fiji
3. 事業の背景と必要性	<p>フィジー諸島共和国は、砂糖等の第1次産業以上に観光客の集客に力を入れ近代化の波が押し寄せ、中高層建築物や商業施設、自動車の急速な普及により、発生する災害傾向が大きく変化している。</p> <p>フィジー国家消防庁としても、これら災害にも対応すべく全消防官の技能向上を急務として掲げているものの、技能を持ち合わせた指導者の不足により、訓練計画が立たず適切な現場活動が行われていない。</p> <p>全ての消防署において指導者を養成し、一人でも多くの消防官に訓練を受ける機会を与えられれば早期に消防力が向上していく。</p> <p>地方都市松阪はフィジー国同様に、広い山間部を有し、中心部の交通事情や大型商業施設の増加で抱える問題においても共通している。松阪消防においても、広範囲に消防署が配置され（フィジーと同じ10消防署）、技能維持のため定期的に講習会や訓練を実施している。フィジーには日本から供与された消防車輛や資機材が多くあり、研修で取り扱う資機材の活用方法を、帰国後容易に実践できる環境にある。</p>
4. 事業の目的	フィジーの各消防署で、自力により現在保有する資機材を生かしての訓練や講習会を立案し実行できる環境や体制を確立し、幅広い知識を備えた消防官を増加させる。
5. 対象地域	フィジー国
6. 受益者層	フィジー国家消防庁（NFA）の本部及び地方分署の消防隊員
7. 活動及び期待される成果	<p>【活動】</p> <p>専門家を派遣し帰国研修員への補完的な技術指導を行う。現地の災害実情に即した消火・救助訓練を帰国研修員と考案し、技術の向上を目指す。</p> <p>研修員の受け入れでは、フィジーでは出来ない訓練を実施。また研修員が平素フィジーで行っている訓練を展示させ、その内容を評価・協議し、指導者として必要な資質や技能を習得する。</p> <p>最終年に現地でNFAが訓練や指導ができるかを評価し助言する。</p> <p>【期待される成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全性・迅速性・確実性を備えた消防活動ができる。 2. 地域に即した訓練計画を自力で立案・実施し評価できる指導者が増える。 3. 資機材の適切な維持管理ができる。 4. 住民への防火普及啓発ができる。 5. 抱えている課題を減らし、円滑に運営できるようになる。
8. 実施期間	平成18年7月～平成20年12月
9. 事業の実施体制	松阪地区広域消防組合が、松阪における研修を実施し、フィジー人研修員による現地活動計画の作成を支援する。続いて、フィジー人研修員による帰国後の活動を専門家の現地派遣により支援する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	松阪地区広域消防組合（三重県松坂市）
2. 対象国との関係、協力実績	平成15年度から17年度までの研修員受入において、消火・救助訓練を主とし、火災原因調査・応急手当訓練・災害現場への出動で、幅広い消防知識と活動の迅速性・確実性・安全性を体得した。帰国研修員は、技術普及活動を実施し、消防官のレベルアップの責務を果たしている。